

平成18年岸部市長年頭のあいさつ 財政は厳しい、しかし市民には笑顔で接して



市幹部職員に年頭のあいさつをする岸部市長

平成18年の仕事始めを迎えた1月4日、市役所本庁舎大会議室で岸部市長が幹部職員を前に年頭に当たってのあいさつをしました。

冒頭で岸部市長は「昨年暮れから大雪となり、豪雪対策本部を設けたがこれからの心配」と、大雪の影響を心配しつつ「昨年はいわば合併ゼロ年。4町がひとつになり、一緒にやっていたこととするスタートの年だった」と、振り返りました。

そして「最初の年は合併したこと守備範囲も4倍になったが、よくがんばったと思う。ただ、17年度は旧町の事業などをそのまま引き継いだもので、18年度が実質的に新市としての最

初の年度になる。いよいよ新しい市のまちづくりに向けて奮起したい」と意欲をのぞかせました。

しかし「三位一体改革も不透明という中で、歳出は減らさざるを得ない状況」と、厳しい財政事情を抱えていることなどに触れながら「既存の事業でも削れる部分は削り、限られた収入を効率よく事業に結び付けたい」と、事業を執行する立場の市職員への改善と工夫を求めました。

そして、より具体的に「旧4町でばらばらに購入していたものを一括して安くいれてもらう」といったことが合併効果のひとつ。例えば病院の資材でも共同購入することができると、支出を少しでも抑え事業に回す工夫が必要。「指定管理者制度の導入に際しても、廃止するものも、どうしても必要なものも、一度見直す必要がある。今は苦勞するかもしれないが、経費の節減を工夫することによって、この後の事業により形となって表れる」などと、職員の奮起を促しました。

最後に「ただ、財政的に厳しいからといって職員が難しい顔をしていては市が明るくならない。笑顔はお金に代えられないもの。市民には明るく接し、配りのある接遇を心がけてほしい」と、笑顔と市民への思いやりのある市政の必要性を強く述べました。

軽油引取税免税証（農業用）の交付申請を受付けます

- 申請日時及び場所
1月23日（月）～25日（水）
9：00～12：00・13：00～15：00
北秋田市役所本庁舎
- 交付日時及び場所
2月1日（水）9：30～12：00
北秋田市役所本庁舎
※2月7日は随時対応
- ◎お問い合わせ
北秋田地域振興局 税課課税班
☎0186-49-2211

	交付申請に必要な書類等			
	新規	更新	継続	書換
1 免税軽油使用者証		○	○	○
2 使用する機会の購入等証明書	○			○
3 免税軽油使用者証交付手数料400円	○	○		
4 誓約書	○	○		
5 免税証交付申請書	○	○	○	○
6 共同申請明細書※共同申請は○	※	※	※	※
7 免税軽油の引取り等に係る報告書		○	○	○
8 免税軽油の引取りを証明する納品書や購入証明書等		○	○	○
9 耕作面積の証明書※共同申請は全員分	○	○	○	○
10 印鑑※共同申請は全員分	○	○	○	○
11 未使用免税証（残券）		○	○	○

コミュニティ助成事業で整備しました

市では、平成17年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成）により、一般コミュニティ助成事業で阿仁前田獅子踊保存会の「獅子踊備品一式」（太鼓、半纏、道具等）を整備しました。

同助成事業は、宝くじの収益を財源に宝くじの普及、広報を図ることをねらいとして財団法人自治総合センターが行っているものです。



広報きたあきた保存版の作成を希望される方へ

市では、皆様に配布した1年分の広報（4月1日号～12月16日号）を保存版として製本いたします。

製本を希望される方は、お手持ちの広報を広報情報課または各支所企画総務課まで持参ください。

- 申込期間 1月16日（月）～31日（火）まで
- 費用 700円
- その他 製本は広報紙に限りません。

◎お問い合わせ
広報情報課 ☎62-6608

市では臨時職員を募集します 北秋田市立鷹巣東保育園保育士助手

- 業務 保育業務補助
 - 雇用期間 1月20日（予定）～3月31日
 - 日給 5,400円（8時間勤務）
 - 募集人数 1人 住所要件不問
 - 資格 保育士免許
 - 申し込み 履歴書及び有資格書類を持参のうえ職員課まで
 - 申込期限 1月18日（金） 17：00まで
- ◎申し込み・お問い合わせ
北秋田市役所職員課 ☎62-6602

トリノ冬季五輪 高橋・小林（北秋田市）が決定



高橋大斗選手



小林範仁選手

2月10日開幕のトリノ冬季五輪ノルディックスキーク複合代表が、昨年12月26日に決定され、北秋田市から高橋大斗選手（鷹巣農林高出―土屋ホーム）、小林範仁選手（花輪高出―東京美装）の2人が出場することになりました。

全日本スキー連盟は、今季のワールドカップ（W杯）とその格下となるW杯Bの成績をもとにした世界ランキングの日本勢上位5人を選びました。高橋・小林両選手は、前回のソルトレイクシティ―冬季五輪に続き2大会連続出場となったほか、畠山陽輔選手（花輪高出―秋田ゼロックス）も選ばれ、秋田県からは3人が代表となります。

昭和55年12月16日、旧阿仁町生まれ。小学1年からアルペン選手、中学2年から複合に組み、3年で全国大会準優勝。鷹巣農林高校で数々のタイトルを獲得。北海道東海大から土屋ホームに入り、平成16年3月のワールドカップで2勝。

昭和57年5月4日、旧阿仁町生まれ。阿仁中3年時に全国中学大会の複合を制し、花輪高1年の小樽国体で準優勝。2年ではインターハイ、国体の2冠。3年時には世界ジュニア選手権個人で優勝。昨季はワールドカップBからスタート。